

結婚を機に「ひなた」を退職、 そして「夜勤専門員」としてカムバック

おじいさん、おばあさんの優しい笑顔と昔話が最高



「その人らしく」の「個」尊重の介護が気に入って

福祉の仕事を選んだきっかけは、元々看護師を目指し上京して働いた病院の患者様が高齢の方が多かったためです。患者様とふれ合ううちに「自分は介護士に向いているのではないか？」と思うようになり、帰郷した時に介護施設を受け、そこから介護の世界にどっぷりとハマりました。新秋会を志望した理由は、ユニット型の特養だったからです。私はずっと従来型の施設で働いており、利用者様が思うように自分の意志や自由な事をできない事が不思議でした。ユニット型は、入居者様の意思で決め、やりたい事や好きな事を楽しめる空間であり、何より「その人らしく」という“個”を尊重していることが私の思う介護だと思いました。

利用者様から沢山の話をお聞きした時

印象に残る出来事は夜勤中、眠れない様子の利用者様に付き添っている時に「昔〇〇で働いていた」「病気になる前は〇〇にいた」等、色々なお話をしてくれた時です。普段はあまり話をする方ではなかったので、沢山話が聞けたときは嬉しくて、他の職員の方々に“聞いて、聞いて”と話をする程でした。

技術とコミュニケーションの更なる向上を目指して

夜勤のみのお仕事なので、まずは体調管理をしっかり行いたいです。そして利用者様が安全に安心して休めるよう努めたいと思っています。

未来のことは分かりませんが、今より技術面においても、コミュニケーションにおいても向上し頼れる職員でありたいと思っています。

介護はきつい？とんでもない！楽しいこと・嬉しいことがいっぱい！

介護はきついとよく言われていますが、それ以上に楽しい事、嬉しい事が沢山あります。おじいさん、おばあさんたちの優しい笑顔に癒され、昔話を聞いたりするのが私の楽しみです。皆さんもぜひ一緒に楽しくお仕事をしましょう。



田口 愛佑香 2019年3月入職

新秋会 ショートステイひなた

特定介護職員

(夜勤専門職員 介護福祉士)